

# 由布コミュニティ(地域の底力再生)事業とは

## ●コミュニティ事業の概要

少子高齢化、核家族化が進む今日、地域のつながりが薄れてきています。さらに交通の利便性が進み、就業や日常の買い物でも大都市に集中し、隣近所でのつきあひも以前よりも少なくなる傾向にあります。

このようなか、住民の方々が主体的に参加し、地域の伝統文化の継承、環境の整備、福祉の充実、教育・スポーツなど住民の自主的な活動を通して、住民一人ひとりが地域に対して愛着と関心を深め、知恵を出し合い、地域の諸問題の解決に向けて力をあわせていく地域づくりが今、求められています。

そこで、本事業は、地域住民が、地域の課題や魅力について共通認識のもと、地域特性を活かした個性ある地域づくりができるよう、行政が住民の方々の共通認識づくり、合意形成づくりを支援し、住民の方々が主体となって地域の諸問題を解決しながら地域の魅力を活かし、地域の絆を深め、地域の活性化を行うことを目的として実施されます。

## ●助成金

この事業は、原則3年間継続事業としています。  
1地区につき、1年目10万円、2年目30万円、3年目30万円を限度として助成します。

## ●事業の流れ

由布コミュニティ(地域の底力再生)事業は、1年目の前半で計画づくりを行い、1年目の後半から、2年目、3年目に計画の実現に向けて、事業を実施していきます。なお、ワークショップについては、由布市が運営を支援し、計画づくりのお手伝いをします。

### ワークショップの実施

- 1回目** ● 魅力の確認、課題の抽出、解決策の提案等
- 2回目** ● 実際に地域を歩きます  
地域を目で見て、地域の課題や良さを活かす提案を考えます。
- 3回目** ● 実施方法を提案します  
誰が、何をどうやって進めるかをみんなで考えます。
- 4回目** ● 地域の計画を作ります  
重点事業、実施体制、事業のめ方、全体目標をつくります。

### ●地域の点検を行います

### ●事業の実施

1年の後半から作った計画に沿って、事業にとりかかります。また、2年目の終わりに計画を評価し、計画の見直しを行います。

### ●計画の見直し

3年めも計画に沿って事業を行います。また、2年目の終わりに計画の評価を行います。

1年目

2年目

3年目

## ●1年目の進め方

1年目の前半は、地域の課題を見つめながら何をしたいけばよいかの計画づくりを行います。

### 第1回 ワークショップ

**ねらい** ● 地域の良いところを見つけよう  
● 地域の課題を出し合い、どうしたらよいか考えよう

【ワークショップの流れ】

地域のすていところ  
自慢・魅力

地域の課題点・課題

みんなで、自分で  
やってみよう

活かそう!

改善しよう!

やってみよう!

グループ発表



課題発見

### 第2回 ワークショップ

**ねらい** ● 地域を見て歩こう、写真を撮ろう  
● 地域をデザインしよう

【ワークショップの流れ】

地域を  
歩く、見る

カードにメモと  
写真を貼る

地図にタイトル  
をつける

グループ発表



見て歩こう

### 第3回 ワークショップ

**ねらい** ● アイデアの実現化に向けて具体的に何をするか決めよう

● 分類  
これまで出た意見を  
テーマごとに分類し、  
整理をしよう

● 具体的な実施方策  
①誰が  
②何を  
③どうやって行うのか

グループ発表



具体的にいう事と役割を作る

### 第4回 ワークショップ

**具体的な進め方**

- 実施体制をつくる  
チーム名の決定  
短期・中期重点プロジェクトの選定
- 進め方を検討しよう  
世話役、担当係、リーダー、副リーダーの配置
- 全体目標をつくる  
みんなで共有できる目標を掲げよう



全体目標を投票で決める